

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 580 号	氏名	Cherif Mahamoud Sama
学位審査委員	主査 由井 克之 副査 松山 俊文 副査 濱野真二郎		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、マラリア DNA ナノ粒子ワクチン投与法の最適化を目的として、投与経路による免疫効果の違いを比較検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ワクチン候補抗原 MSP-1C 末端をコードする DNA のナノ粒子を調整し、静脈内、腹腔内及び皮下の 3 経路からワクチンを投与してその効果を比較した。特異抗体やサイトカイン産生、マラリア原虫感染後の原虫血症及び死亡率を解析しており、妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、ナノ粒子による DNA ワクチンの免疫効果は、腹腔内と静脈内投与で十分に得られるが、皮下投与では不十分であることを明らかにしており、評価できる。</p> <p>以上のように、本論文はワクチン開発研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			